

「職場の人間関係」関連の相談が最多 ～令和4年度京都府労働相談所の実施結果について～

- 京都府では、京都府労働相談所（京都テルサ内）における令和4年度の相談件数を取りまとめましたのでお知らせします。
- 相談件数は3,955件（前年度比▲5.7%）と2年連続で減少。
- 相談内容は前年に引き続き「職場の人間関係」が928件（16.8%）と最多。

1 相談件数の推移（表1）

- 令和4年度の労働相談件数は、前年度より241件減少して3,955件となった（R3比5.7%減）。
- 雇用形態別では、労働者のうち正規雇用からの相談が1,709件、非正規雇用からが1,613件で、使用者からが125件だった。

表1 相談件数の推移

上段 件／下段 %

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	3,746	4,231	5,082	4,196	3,955
労働者	3,639 (97.1)	4,074 (96.3)	4,600 (90.5)	3,982 (94.9)	3,749 (94.8)
正規	1,557 (41.6)	1,840 (43.5)	1,857 (36.5)	1,918 (45.7)	1,709 (43.2)
非正規	1,671 (44.6)	1,791 (42.3)	2,193 (43.2)	1,638 (39.0)	1,613 (40.8)
その他 ※1	411 (11.0)	443 (10.5)	550 (10.8)	426 (10.2)	427 (10.8)
使用者	79 (2.1)	121 (2.9)	310 (6.1)	108 (2.6)	125 (3.2)
その他 ※2	28 (0.7)	36 (0.8)	172 (3.4)	106 (2.5)	81 (2.0)

※1 求職活動中の者、雇用形態を把握できなかった者等

※2 請負、就労状況を把握できなかった者等

2 相談内容の推移（表2-1、2-2）

- 相談内容件数は、前年度より785件減少して5,514件となった（R3比12.5%減）。
- 正規・非正規雇用労働者ともに、依然として「職場の人間関係」に関する相談が最も多かった。

表2-1 相談内容の推移

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
労働条件に関すること	3,883	63.0	4,233	62.2	4,405	56.1	3,519	55.9	2,986	54.1
就業規則 就業規則の作成、周知 等	105	1.7	73	1.1	63	0.8	131	2.1	134	2.4
賃金 賃金未払い、最低賃金 等	736	11.9	876	12.9	1,228	15.7	777	12.3	662	12.0
労働時間、休日・休暇 年次有給休暇、労働時間 等	829	13.5	981	14.4	763	9.7	568	9.0	525	9.5
安全衛生 職場環境の整備、安全配慮義務 等	126	2.0	141	2.1	216	2.8	299	4.7	143	2.6
解雇、退職勧奨 ※使用者からの労働契約解除に関する働きかけ	319	5.2	397	5.8	522	6.7	339	5.4	334	6.1
退職、退職金 退職手続き、退職金未払い 等	684	11.1	685	10.1	633	8.1	685	10.9	470	8.5
労働契約 契約書不交付、契約内容の変更 等	558	9.1	551	8.1	449	5.7	494	7.8	513	9.3
その他の労働条件に関すること 損害賠償、懲戒処分 等	526	8.5	529	7.8	531	6.8	226	3.6	205	3.7
労働組合及び労使関係に関すること 組合結成、労使交渉 等	29	0.5	23	0.3	33	0.4	12	0.2	15	0.3
雇用に関すること 雇い止め、配置転換 等	282	4.6	348	5.1	333	4.2	377	6.0	251	4.6
勤労者福祉に関すること 労働保険、健康保険・年金 等	712	11.6	744	10.9	927	11.8	769	12.2	775	14.1
職場の人間関係に関すること 人間関係、パワーハラスメント 等	917	14.9	1,074	15.8	1,011	12.9	1,027	16.3	928	16.8
その他 助成金・補助金、育児介護休業、健康 その他	340	5.5	385	5.7	1,137	14.5	595	9.4	559	10.1
合 計	6,163	100.0	6,807	100.0	7,846	100.0	6,299	100.0	5,514	100.0

※相談内容別件数については、1件の相談で複数の相談内容がある場合があるため相談件数と一致しない。

表2-2 雇用形態別相談内容

順位	正規雇用労働者		非正規雇用労働者		(参考)令和3年度 全体	
	相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
1	職場の人間関係に関すること	476	職場の人間関係に関すること	384	職場の人間関係に関すること	1,027
2	勤労者福祉に関すること	345	勤労者福祉に関すること	328	賃金	777
3	賃金	307	労働契約	306	勤労者福祉に関すること	769
4	労働時間、休日・休暇	272	賃金	266	退職、退職金	685
5	退職、退職金	258	労働時間、休日・休暇	229	育児・介護休業・その他の問題	595

(次頁あり)

3 新型コロナウイルス感染症に関する相談状況（表3）

○新型コロナウイルス感染症に関する相談は前年度より 276 件減少して 348 件となった。労働者、使用者ともに「健康」についての相談が最も多かった。

表3 相談件数の推移

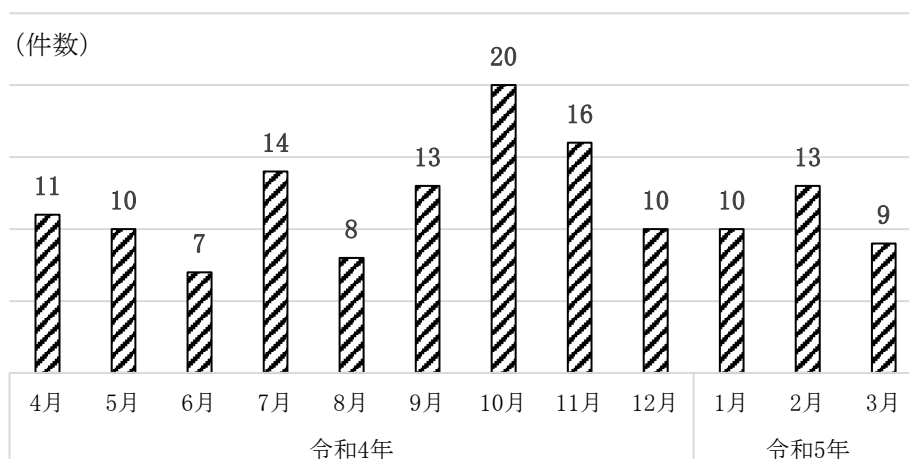
相談件数	令和4年度	令和3年度	順位	労働者		使用者	
	348	624		相談内容	件数	相談内容	件数
労働者	312	535	1	健康	78	健康	5
使用者	21	52	2	労務管理	64	労務管理	4
その他	15	37	3	休業手当	51	安全衛生	4

4 学生からの相談状況（ブラックバイト相談窓口）（図4）

○学生からの相談は、前年度から 19 件増え、141 件となった。相談者は、前年度と比べ高校生からの相談が増加した（R3: 4 → R4:14）。

○月別相談件数では、昨年度と同様 10 月の件数が最も多く、10 月 9 日からの最低賃金引上げに伴った「賃金」に関する相談等があった。

図4 月別相談件数



○令和4年度は、昨年度に引き続き「賃金未払い」や「退職したいが辞めさせてもらえない」といった相談が多かった。

【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部労働政策室 室長 義本 TEL 075-414-5080
 課長補佐 安井 TEL 075-414-5082

